

五泉市の文化財



1 小山田ヒガンザクラ樹林

江戸時代から続く桜の名所。エドヒガン（アズマヒガン）で、その数は250本を超えます。巨樹が多く、最大のもは、目の高さの幹まわりが3mに達しています。小山田の桜は花の名所として古くから知られているところで、多くの文人が花見^{ふんじん}に来訪したという記録が残っています。花は純白のものを主としますが、淡紅のものもみられます。見ごろは4月中旬から下旬頃。

【国指定天然記念物 昭和3年11月30日】

五泉市教育委員会

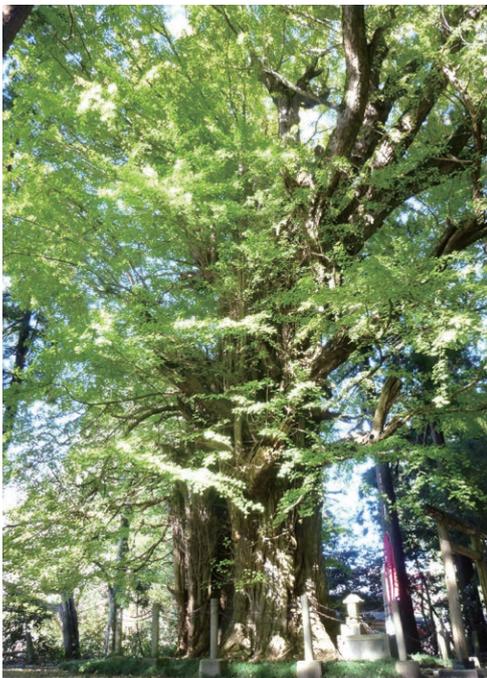
2 はちまんぐう 八幡宮本殿



矢津八幡宮は、征夷大將軍としてこの地を訪れた坂上田村麻呂が大同2年（807）、戦勝祈願のために創建したと伝えられています。江戸時代には村松藩五社のひとつとして優遇され、武人の守護神として信仰を集めました。本殿全体の骨組みは太く、江戸時代初期の形式をよくとどめ、その時代の建築様式を今に残す貴重な建築物です。

【県指定有形文化財（建造物） 昭和61年3月28日】

4 きりはた ちちいちよう 切畑の乳銀杏



切畑集落の観音堂境内にそびえる雄イチョウの大木。幹の周りからは数十本の乳柱が垂れ下がっていることから、乳銀杏と呼ばれています。奈良時代に行基が枝を切り、十一面観音像を彫ったという伝説が残っています。

幹から下がっている乳柱を削り、煎じて飲むと、母乳が良く出ると言い伝えられ、昔から母乳や安産の神木として崇拝されています。樹高約40m、幹周り約12m。

【県指定天然記念物 昭和33年3月5日】

3 どうぞう かのん ぼ さつりゅうぞう 銅造観音菩薩立像



蠟型鑄造法によって製作されたもので、ほほからあごにかけては柔らかい円味が加わっています。体の姿はのびのびとした自然さがあり、顔かたちの穏やかさと相まって奈良時代前期のすぐれた金銅仏といえます。台座を含めた高さは30.5cm、像の高さは25.3cm。

【県指定有形文化財（彫刻） 昭和35年3月28日】

5 じこうじ 慈光寺のスギ並木

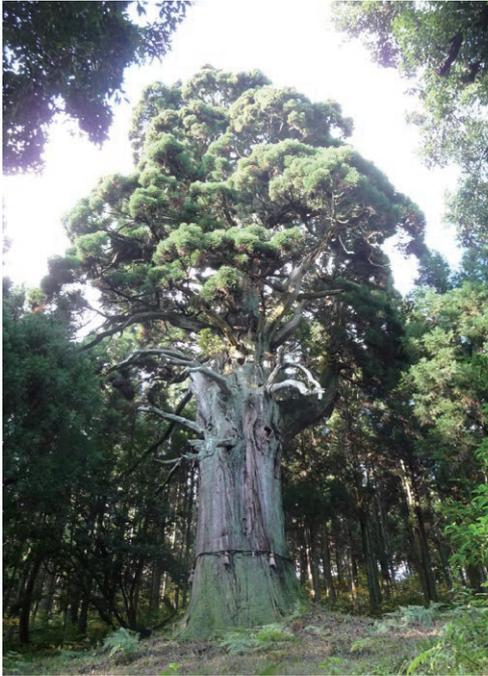


曹洞宗越後四ヶ道場のひとつとして、古くから信仰を集めてきた慈光寺。その500mに渡る参道には、樹齢300年から500年といわれるスギ並木があります。136本のスギの巨木が並ぶ景観は大変美しく、慈光寺の歴史を訪れる

人々に伝えていきます。県下でも最大規模を誇るといわれる大変貴重なスギ並木です。

【県指定天然記念物 昭和50年3月29日】

6 まき え もり 牧の衛守スギ

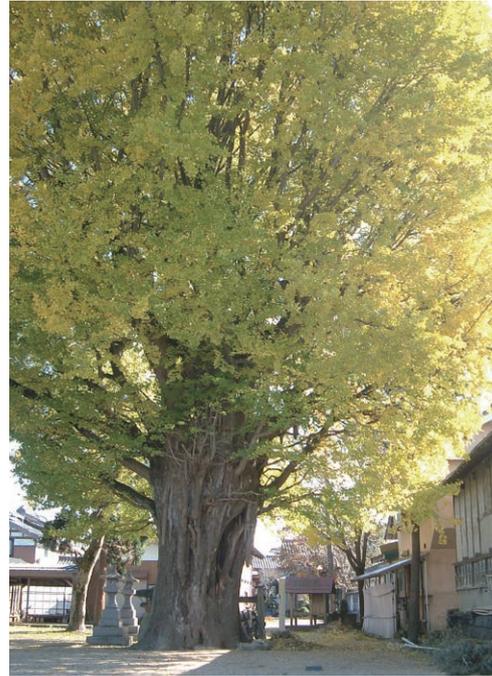


牧集落の八幡宮境内にあり、背の低い木が生い茂った斜面に立つ大きな杉です。牧の八幡宮は康平7年(1064)に創建されたと伝わる古社であり、衛守スギは古くからご神木として、地域の人々に親しまれてきました。

樹齢は千年以上と推定され、日本海側特有の古代スギの特徴を持ち、力強く立つ姿は生命力にあふれ、見るものに感動を与えてくれます。高さ35m、幹周り7.9m。

【県指定天然記念物 昭和50年3月29日】

7 かみごうや 上郷屋のオハツキイチョウ



上郷屋集落の諏訪神社境内にあるオハツキイチョウです。大きさは目通り7.5m、高さ20m、枝張り南北18m、東西19m、推定樹齢500年以上という巨木で、現在も樹勢は盛

んです。オハツキイチョウは、花の子房が成熟し、実を付ける通常のものとは異なり、実を葉の中央部に付けます。種子植物のイチョウがシダ植物に似た特徴を持つことから、植物系の進化を知る上で貴重な樹木です。

【県指定天然記念物 平成19年3月23日】

8 住吉神社 本殿・拝殿(附棟札)



大同元年(806)に創建されたと伝えられる古社です。もともと市場の守護神として祀られていましたが、寛文2年(1662)に村松藩主堀直吉が堀家の祖霊を祀り、村松藩五社のひとつとして優遇しました。現在の本殿は、天明8年(1788)の村松藩祖堀直吉150年忌に再建、拝殿は天保9年(1838)の直吉200年忌に再建されたものです。7月28日・29日の祭礼には、「ちゃんちゃこばさ」と呼ばれて親しまれている高砂人形が飾られ、境内の池には船神輿が浮かべられます。

【市指定有形文化財(建造物) 平成4年6月29日】

9 こやすんめいじぞうそん 子安延命地藏尊



子どもを抱えているところから子安のお地藏様と親しまれている大石仏です。この地藏尊は、全国66か所の霊場を回って経を納めた宗教者である六十六部が、日本に3体とない地藏尊を建立することを誓って五泉に戻ったことにより、土倉山(現在の加茂市)から掘り出した大石で造られたものです。下絵は五泉の仏師大橋翁の手によったといわれ、大川前に安置されました。現在は栗島公園に移されています。

【市指定有形文化財(彫刻) 昭和43年5月4日】

10 やくしによらいぶつ 薬師如来仏



さんぼんぎ りゆう
三本木の隆
ぜんじ
善寺に安置さ
れています。
明治以前、三
本木を流れる
蛇川にいる大
蛇を退治しよ
うと、波多彦
左衛門という
村松藩の武士
が蛇の目の光
るところへ行
つてみたところ、不思議な
光が輝き、そ
こに仏像を見
つけました。

それを持ち帰り、薬師堂を建立し安置したという言い
伝えがあります。また、村松藩堀丹後守が馬に乗り、
薬師堂の前を通ったところ、落馬してしまったという
不思議な言い伝えもあります。身丈120cm、台座23cm。

【市指定有形文化財（彫刻） 昭和45年1月14日】

11 もくぞう そうぎようもんじゆ ぼ さつ ざ ぞう 木造僧形文殊菩薩坐像



慈光寺の開
山堂に安置さ
れている文殊
菩薩坐像です。
びやくぞう
白毫とよばれ
る仏の眉間に
ある白い巻き
毛には水晶が
用いられてい
ます。耳の形
状や仏像の胴
体部分を前後
に繋ぐ「束」
を設ける構造
技法から、院
派と呼ばれる
ぶっし
仏師たちの特
しんづか

徴を示していて、像の底の接地部分に「心束」を彫り
残すなど、古風な構造技法で作られています。また、
像底に「永正十五年」(1518)の墨書が発見されていま
す。高さ34.5cm、幅26cm、奥行き20cm。

【市指定有形文化財（彫刻） 平成30年9月27日】

12 おお え ひろ み か ひ 大江廣海歌碑



大江廣海は、江戸時代、越後・佐渡出身者で唯一全
国的な国学者・歌人となった人です。明和6年
(1769)に生まれ、幼少のころから優秀で、江戸に出
てから村田晴海に教えを受けました。京都に出る
は私塾を開いて古典や詠歌の指導をしました。この歌
碑は、明治時代に建立されたものです。

さくら はな したかげ わ お ひとまれ なり
桜さく花の下蔭分けくれて逢ふ人稀に成にけるかな
ぶんせいこういん わらうもくへんうたのひと
文政庚寅春三月子 笑木邊歌之人 廣海

【市指定有形文化財（書跡） 昭和45年1月14日】

13 なん えい けん しょう じん びつ へき がん じ こう (伝)南英謙宗真筆碧巖事考



碧巖事考は、室町時代の禅僧である南英謙宗が禅宗
の重要な教本『碧巖録』に学問的な解説を加え著した
書物です。南英謙宗は村上市にある耕雲寺を開いた傑
堂能勝に学び、新潟市西蒲区岩室の種月寺を建立した
学僧で、この書籍は南英謙宗本人が書いたものと伝え
られています。全10巻中6巻が残っています。

【市指定有形文化財（書籍） 平成元年7月21日】

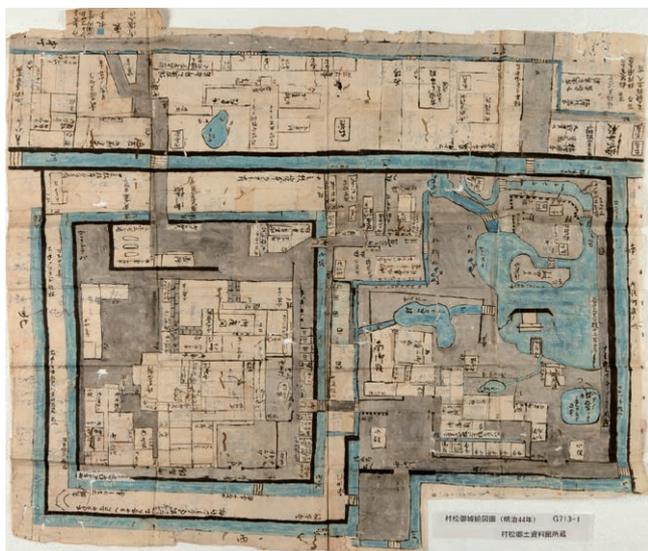
14 村松城下図



村松は、江戸時代には堀家三万石の城下町でした。正保元年（1644）堀直時を初代藩主として成立し、城下町もこのころから整備がはじまりました。この城下図は、宝暦年間（1751～64）に作成されたものです。縮尺は一間（約180cm）が一分（3mm）の縮尺で道路や土地、家屋の幅、奥行きなどが細かく書かれています。村松は数回の大火などで多くの資料が焼失しており、この絵図は当時の城下町村松の様子を伝える大変貴重なものです。

【市指定有形文化財（古文書） 昭和47年6月5日】

16 村松御城絵図面



明治44年（1911）、旧村松藩士山田岩蔵が記憶をもとに作成した幕末期の村松城内の図面です。正確に測量しているものではありませんが、建物の配置や名称、間取り、庭や植えられていた植物など、城内の様子について詳細に記してあります。村松城内について記録しているものは、現在のところこの絵図面だけであり、村松城の姿を知る上で大変貴重です。

【市指定有形文化財（古文書） 平成23年9月29日】

15 村松城城郭図及び南御殿の図



村松陣屋は、嘉永3年（1850）、第9代藩主堀直央が城主格を拜命したことにより「村松城」となり、大規模な築城が行われました。この絵図はその後作成されたものと考えられます。城内の書入れはありませんが、城郭は大変精密に測量して記載されており、城郭内の建物、堀、土塁の位置や形が正確に描かれています。

【市指定有形文化財（古文書） 平成23年9月29日】

17 山境裁定絵図



絵図は3枚あり、元禄4年（1691）、新発田藩領田上村・湯川村と沼海藩領橋田村・菅沢村との間で、護摩堂山頂付近の境界を巡る争いが起こった結果決められた境界が記された絵図が2枚と、元禄6年（1693）、幕領橋田村と新発田藩領金津村との間で境界争いが起こった結果決められた境界が記された絵図が1枚あります。この中で元禄4年のものは、当時では珍しい立体絵図となっています。江戸時代初期の民事訴訟や司法について把握することができるほか、近世初期におけるこの地域の状況を知ることができます。

【市指定有形文化財（古文書） 平成23年9月29日】



18. きりしたん禁止の高札



19. 徒党禁止の高札



20. 火付禁止の高札



21. 博奕禁止の高札

高札とは、幕府の禁令を領主が領民に伝える際に、掲示した木の立て札のことを言います。

4枚の高札は、村落の長である庄屋の屋敷内から発見されたことから、村落内での庄屋の役割を知る資料として大変貴重なものです。また、そのうち3枚には「出羽」と記載されており、土堀村が水野出羽守が治める沼津藩領(現静岡県)となっていたことを知ることができます。

【市指定有形文化財(古文書) 令和3年3月25日】

塔婆とは現在でいうお墓の後ろに立てる縦長の木片のことで、五輪線刻塔婆は角柱状の自然石に五輪塔の形を線で刻んだ塔婆です。板碑ともいい、鎌倉時代から南北朝時代を中心に死者の供養などを願い建立されました。判明している市内最古の板碑は、泉福寺にある弘安8年(1285)のものです。県内各地でも出土していますが、五輪塔を線刻したものは少なく、この地方の特色といえます。

【市指定有形文化財(考古資料)】

■五輪線刻塔婆及び板碑

- 22. 善明寺 1基(昭和51年2月27日)
- 23. 正円寺 11基(昭和51年2月27日)
- 24. 泉福寺 3基(昭和51年2月27日)
- 25. 勝泉寺 1基(昭和51年2月27日)
- 26. 英林寺 1基(昭和51年2月27日)
- 27. 清水寺 2基(昭和51年2月27日)
- 28. 禅定院 3基(昭和51年2月27日)
- 29. 永谷寺 3基(昭和51年2月27日)
- 30. 石川家 1基(昭和51年2月27日)
- 31. 伊志曾禰神社 2基(昭和54年7月16日)
- 32. 相田家 1基(昭和57年3月24日)



相田家の板碑(五輪線刻塔婆)



正円寺の五輪線刻塔婆

33 きょう づつ
経筒



昭和23年（1948）、木越地内を開墾しているときに発見された銅製の経筒です。経筒の大きさは、高さ10.4cm、口径4.6cmで、刻まれた文章から、山城国の住人である真光という人が、六十六部に託して法華経を納めたことがわかります。またもう一つは、高さ10.1cm、口径4.4cmで、刻まれた文章は腐食により不明な点もありますが、「六十六部」「□□年今日」とあります。なお、経筒中には経巻の紙片が付着していましたが、すでに形を失っています。五泉の中世における信仰などを知ることができます。

【市指定有形文化財（考古資料） 昭和52年4月19日】

34 ほりな お やす
村松藩主第10代堀直休副葬品



昭和47年（1972）、村松藩主菩提寺の英林寺境内において墓地移転の際に発掘されました。直休は天保7年（1836）、第9代藩主直央の次男として生まれ、安政4年（1857）、22歳で村松藩第10代藩主となりますが、万延元年（1860）、25歳という若さでこの世を去りました。直休が愛用していた刀や脇差、漆塗りの弁当重箱、印籠、筆、文鎮、懐中時計、オルゴールなど106点におよぶ遺品は、藩主の生活を今に伝えています。

【市指定有形文化財（考古資料） 昭和52年4月27日】

35 こつ ぞう き
骨蔵器



正円寺がかつてあった場所といわれる大御堂地内から発見された中世の骨蔵器です。この発見によって、正円寺周辺は供養塔婆を造立したり、遺骨を埋納する霊場であったということがわかってきました。発見時、骨蔵器には火葬した人骨が納められており、この地に埋納されたものと考えられます。中世の信仰を知る上で貴重な資料です。

【市指定有形文化財（考古資料） 平成元年11月15日】

36 はく び
帛の帯



帛の帯は五泉独特の踊りです。踊り手は白紙一枚の上で踊るとされ、その装束や小道具は紋付き袴を着け、腰に白扇を差します。伝承によれば、江戸時代以前から継承されていたといわれていますが、今日踊られている帛の帯は、江戸時代末期から明治時代初期にかけて作り上げられたと考えられています。明治・大正・昭和・平成の数度にわたる衰退期を経ながらも五泉の人々の努力によって継承されてきた大切な芸能です。

【市指定無形文化財 昭和60年10月31日】

37 ほていちょうほていやたい
布袋町布袋屋台及び付属文書



ぶんせい
文政 2 年
(1819)、指
やなぎ
柳町の11人が
私財を投じて
建造した屋台
です。2階に
布袋の人形が
のっているこ
とから、「布袋
屋台」と呼ば
れています。
江戸時代、五
泉には7つの
屋台がありま
したが、人形
と一緒に完全

な形で保存されているのは布袋屋台だけです。また付属文書は117冊あり、主として祭礼にかかる費用の割り当てや精算の記録が詳細に記入されています。布袋屋台や祭礼行事の一端を知ることができます。長さ4.6m、幅2.69m、高さ4.99m。

【市指定有形民俗文化財 昭和48年12月17日】

38 しきさんばじょうまちやたい
式三番城町屋台



てんめい
天明 8 年
(1788)、村
松藩初代藩主
堀直寄150年
忌に6代藩主
直教の命によ
り名工とうた
われた宮大工
5代目小黒奎
右衛門によっ
て建造されま
した。同年住
吉神社の祭礼
に奉納されて
います。この
屋台は、柱の

間隔などが踊りやすく、その踊りを見やすいように考慮され、強度も考えて設計された技術的に優れたものです。仕上げも黒漆塗りに金模様の彫刻がほどこされています。長さ4.6m、幅2.8m、高さ3.9m。

【市指定有形民俗文化財 昭和48年12月17日】

39 かんばらかくら
蒲原神楽



古い形を留めながら継承されている民俗芸能です。江戸時代に蒲原集落に悪病が流行したとき、泊っていた旅芸人が病気の流行を鎮めるため獅子頭を刻み、舞を伝授したのが始まりと伝えられています。一時途絶えていたものを、大正15年(1926)に当時の大蒲原村有志が復活させました。現在は大晦日の深夜から元旦未明に下大蒲原地区の神明宮で奉納されています。

【市指定無形民俗文化財 平成2年1月16日】

40 ぜんがん
善願の虫送り



長年風土病であるツツガムシ病の被害に苦しめられてきた、阿賀野川・早出川流域で行われてきた虫送り行事の中で、現在も唯一行われている行事です。

祈祷の後、五色の旗を持った人々が虫除け地蔵を担いで集落を回り、橋の上から五色旗を流した後、火渡りを行います。

祈祷、行列、火渡りといった多重構造を持ち、実践的な儀礼中心の宗教である修験道の要素を取り入れている点は、他の地域の虫送り行事では見ることはできません。地域の歴史や人々の祈りを今日に伝える、貴重な民俗行事です。

【市指定無形民俗文化財(風俗慣習) 平成27年7月23日】

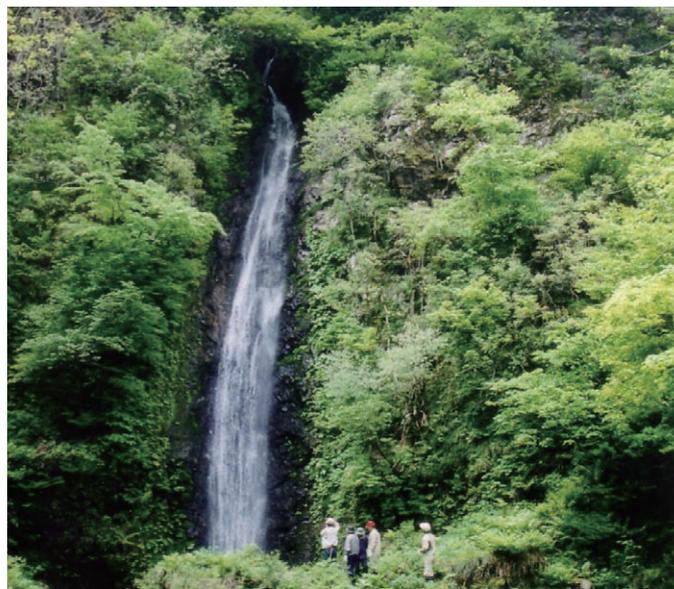
41 おおくら い せき
大蔵遺跡



縄文時代中期（5000～4000年前）の大規模な集落遺跡です。発掘調査の結果、2軒のたて穴式住居跡と多くの土器・石器を発見し、約1000年もの間、営まれた遺跡であることが判明しました。特に出土した台付き浅鉢は、優勝カップに似た形から「栄光杯」と名付けられ、大蔵遺跡を代表する土器となっています。

【市指定史跡 昭和43年5月4日】

42 しごへい
視後平の滝



川内地区にある落差30mの滝です。川内の山々は、早出川の浸食により深いV字の渓谷を形成し、渓谷に流れ込む沢も険しい谷を刻んでいます。この滝は深い谷と水の浸食により造り出されたもので、周辺の自然と一体となり、美しい景観を見せています。

【市指定名勝 平成12年8月22日】

43 ころもいわ
衣岩



この衣岩は、早出川の浸食により露出した岩盤で、石英粗面岩（流紋岩）という火成岩（火山岩）でできた柱状節理がみられます。柱状節理とは、溶岩が冷えて固まるときに溶岩の体積が縮むために、縦状にできた規則的な割れ目のことです。その見た目が衣のひだを思わせることから、衣岩と呼ばれています。水辺や周辺の自然とともに美しい景観を見せています。

【市指定名勝 平成12年8月22日】

44 すおうすぎ
周防杉



ながはし
長橋集落の
はぐろ
羽黒神社境内
に立つご神木
です。樹齢
900年以上と
伝えられ、高
さは35m、幹
周りは6.9mに
もおよびます。
平安時代、越
後に進軍して
きた黒鳥兵衛
はにゅうだすおうの
と羽生田周防
守が合戦。周
防守は討たれ、
妻は夫の首を
奪い返してこ
の地に逃れます。

その後、周防守を慕う村人たちは、羽黒神社境内に八幡宮を建てて、周防守の首を祀りました。このような伝説が由来となり、この杉は「周防杉」と呼ばれるようになったと伝えられています。

【市指定天然記念物 昭和51年2月27日】

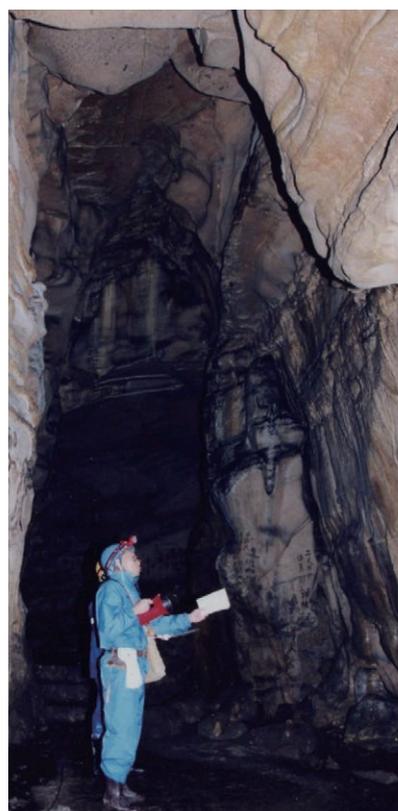
45 たてのうち 館之内の大杉



丸田集落の山すそにそびえる熊杉くまさぎの大木です。樹高は35m、幹周りは約8.7m、推定樹齢は500年以上とされています。すぐそばにある小さなお堂のご神木と伝えられています。

【市指定天然記念物 昭和60年10月31日】

46 おおさわしょうにゅうどう 大沢鍾乳洞



ます。総延長145.9m、高低差は17m。

【市指定天然記念物 平成5年11月19日】

新生代新第三紀（2400-180万年前）に積ってできた地層が盛り上がり、陸となった後に形成された鍾乳洞です。日本の鍾乳洞は、中生代や古生代の石灰岩地帯に形成されているものが多く、大沢鍾乳洞は新しい地層の中にできたものとして、全国でも珍しく、学術的価値も極めて高い鍾乳洞です。主洞と支洞のほか、小さな枝洞があり

47 伊藤家住宅



伊藤家は、江戸時代後期には庄屋を務めた旧家です。享和4年（1804）に主屋が建てられ、その後何度か整備や改修が行われていますが、古材を再利用したり、部分的な改築にとどまったりしたため建物は昔の様子をよくとどめています。また、屋敷構えも江戸時代後期から昭和初期にかけての裕福な農民の様子をよく表しています。登録は主屋、三階土蔵、米蔵、家財蔵及び計量場、納屋、表門及び内堀の6棟です。

（注）公開は外観のみになります。

【国登録有形文化財（建造物） 平成17年7月12日】

48 新潟県立村松高等学校(旧新潟県立工業学校)正門



明治36年（1903）、村松に新潟県初の工業学校である新潟県立工業学校が開校しました。この正門も開校の頃に建設されたと考えられています。レンガ造りの門柱3本で構成され、各門柱の組み方の違いに特徴がみられます。新潟県の工業学校の歴史や当時の面影を伝える貴重な資料です。

【国登録有形文化財（建造物） 平成20年3月7日】

49 坂田家住宅



坂田家は江戸時代には庄屋、明治時代には中蒲原郡の戸長を務めた旧家です。坂田家住宅の中心となる主屋は江戸時代末期の建築で、昭和28年（1953）に改築されていますが、家の主要部分である茶の間や座敷などはそのまま残っています。また生垣や土蔵といった周辺の建物や景観も含めて、全体的に近世期の屋敷構えがよく保存されており、当時の裕福な農民の様子を今に伝えています。登録は主屋、新倉、土蔵、古土蔵、堆肥舎の5棟です。

（注）公開は外観のみになります。

【国登録有形文化財（建造物） 平成23年1月26日】

51 慈光寺虚空蔵堂



虚空蔵堂は、奈良時代の僧・行基が刻んだ虚空蔵尊を、当地にお堂を建立して安置したことに始まると伝えられています。地域では「別所の虚空蔵様」と呼ばれて大変親しまれています。現在の虚空蔵堂は、宝暦4年（1754）の火災直後に再建したもので、基本的な骨格は建築当初の姿を保っています。その構造は豪快で力強くあると同時に、質のよさをあわせもつものになっています。本格的な仏堂形式を持つお堂として大変貴重です。

【国登録有形文化財（建造物） 平成24年2月23日】

50 慈光寺



霊峰白山の麓に座す曹洞宗の古刹。応永10年（1403）頃、傑堂能勝によって開かれ、江戸時代には越後四ヶ道場のひとつとして繁栄しました。建物は宝暦5年（1755）の火災後に再建したもので、本堂は宝暦13年（1763）、庫裏は宝暦9年（1759）、禅堂及び衆寮、山門、回廊、経蔵は江戸時代後期の建築です。新潟県内でも回廊を残す曹洞宗寺院はまれであり、主要な建物が整っている貴重な寺院です。登録は本堂、庫裏、禅堂及び衆寮、山門、回廊、経蔵の6棟です。

【国登録有形文化財（建造物） 平成24年2月23日】

【指定解除】「五泉平」の染色技術



五泉平とは、五泉産の袴地のことです。江戸時代に仙台平の技術を導入したものとされています。その特色は染色の技術にありパラエクス、ログウッド、ゲレップの3種の天然素材をそれぞれ鉄およびクロムの染色を助ける2種の媒

染剤と組み合わせ、染料を繊維に定着させます。これにより、五泉平には化学染料に見られない美しさがあります。

技術保持者であった三富三郎さんの逝去により指定を解除されました。

【県指定無形文化財（工芸技術） 昭和42年3月25日】

平成25年8月21日 指定解除

五泉市の歴史遺産

52 〈五泉城址〉



かつて八幡宮の場所には五泉城があり、天正11年(1583)に上杉景勝^{かげかつ}の家臣である甘糟備後守景継^{あまかすびんごのかみかぎつぐ}が護摩堂山城(田上町)から移り城主を務めました。現在は城があったことを示す小さな石碑が残っています。

53 〈中山神社〉



鳥居^{とりい}から続く石畳を歩き石段を登ると、多くの巨樹・古木に囲まれた荘厳な雰囲気の中に本殿が建っています。この地域は、奈良時代の平城京にあった西大寺の荘園^{しょうえん}がおかれていた場所とも考えられています。中山神社は古代からの歴史を見守ってきた神社です。

54 〈城跡公園〉



江戸時代、堀家三万石の城下町として栄えた村松。かつて、村松城のあった場所は、現在「城跡公園」として整備され土塁や堀の一部が復元されています。2代目藩主堀直吉^{なおよし}が藩政を行う場所である陣屋を築いてから、12代目藩主堀直弘^{なおひろ}の時代まで政治・軍事の中枢を担ってきました。城跡公園内には、藩政時代の遺品や当時の歴史・文化を伝える資料を収蔵・展示している村松郷土資料館もあります。

55 〈忠犬タマ公〉



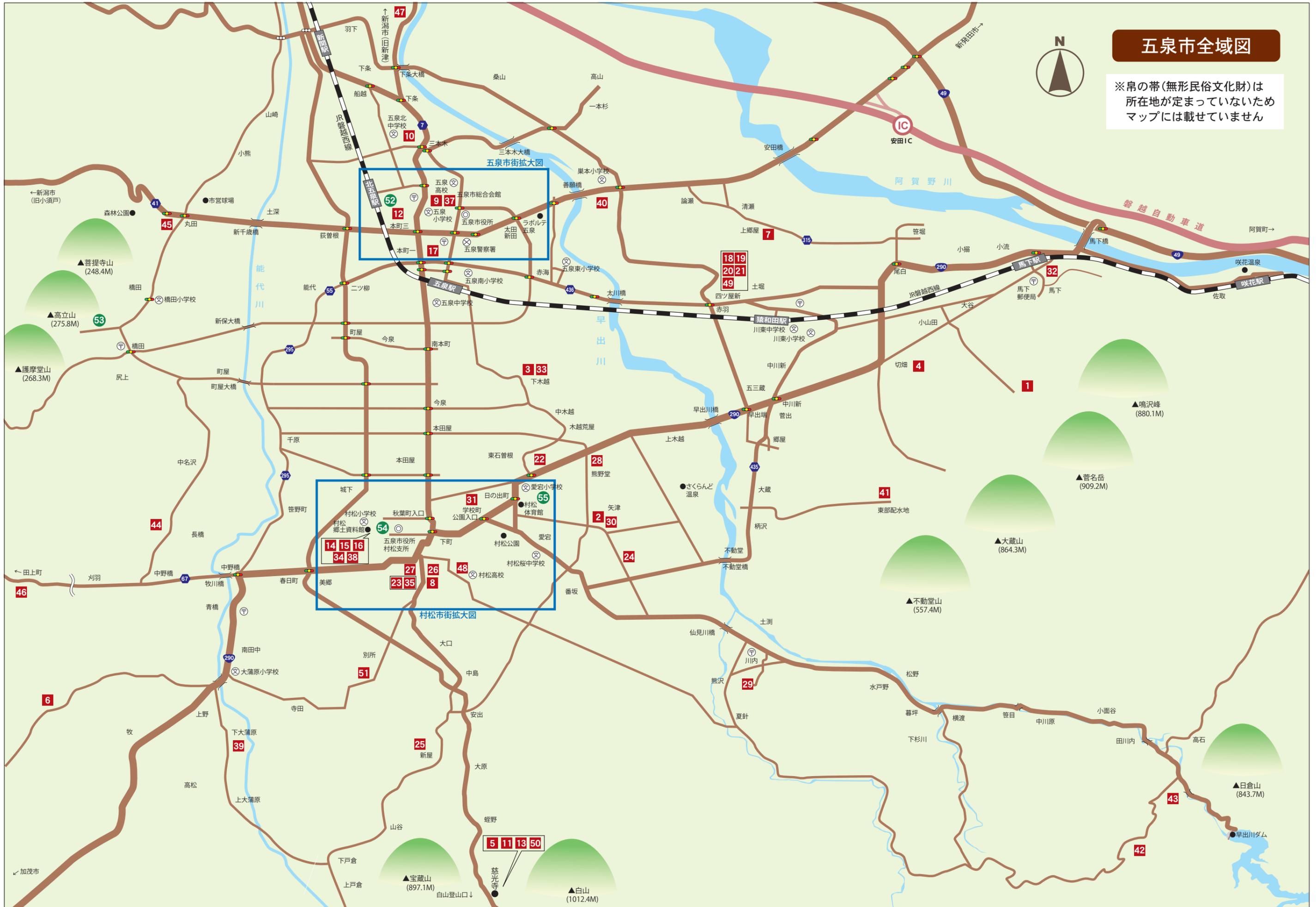
タマ公は、昭和の初め、2度に渡り^{なだれ}雪崩に巻き込まれた主人を救出した猟犬です。両足血まみれになりながらも必死に主人を救い出したタマ公の姿は、当時大きな感動を与えました。現在村松公園や新潟駅、白山公園などに忠犬タマ公の像が建てられ、その勇姿を見ることができます。愛宕小学校にある像は、旧川内小学校から移転したもので、五泉出身の彫刻家・羽下大化^{たいか}の作品です。

五泉市文化財マップ



五泉市全域図

※帛の帯(無形民俗文化財)は所在地が定まっていないためマップには載せていません



五泉市の文化財一覽

令和5年6月7日現在

指定	種別	名称	員数	指定年月日	所在地	
1	国指定	天然記念物	小山田ヒガンザクラ樹林		S 3. 11. 30 小山田	
2	県指定	建造物	八幡宮本殿	1棟	S61. 3. 28 矢津	
3		彫刻	銅造観音菩薩立像	1軀	S35. 3. 28 川瀬 (願成寺)	
4		天然記念物	切畑の乳銀杏	1本	S33. 3. 5 切畑	
5		天然記念物	慈光寺のスギ並木	136本	S50. 3. 29 蛭野 (慈光寺)	
6		天然記念物	牧の衛守スギ	1本	S50. 3. 29 牧 (八幡宮)	
7		天然記念物	上郷屋のオハツキイチョウ	1本	H19. 3. 23 論瀬 (諏訪神社)	
8		市指定	建造物	住吉神社 本殿・拝殿 (附棟札)	1棟 <small>(棟札5枚)</small>	H 4. 6. 29 村松甲
9	彫刻		子安延命地藏尊	1軀	S43. 5. 4 粟島	
10	彫刻		薬師如来仏	1軀	S45. 1. 14 三本木 (隆善寺)	
11	彫刻		木造僧形文殊菩薩坐像	1軀	H30. 9. 27 蛭野 (慈光寺)	
12	書跡		大江廣海歌碑	1個	S45. 1. 14 宮町 (八幡宮)	
13	書籍		(伝) 南英謙宗真筆碧巖事考	6巻	H 1. 7. 21 蛭野 (慈光寺)	
14	古文書		村松城下図	1幅	S47. 6. 5 村松郷土資料館	
15	古文書		村松城城郭図及び南御殿の図	2舗	H23. 9. 29 村松郷土資料館	
16	古文書		村松御城絵図面	1舗	H23. 9. 29 村松郷土資料館	
17	古文書		山境裁定絵図	1式	H23. 9. 29 五泉市立図書館	
18	古文書		きりしたん禁止の高札	1枚	R 3. 3. 25 土堀 (坂田家)	
19	古文書		徒党禁止の高札	1枚	R 3. 3. 25 土堀 (坂田家)	
20	古文書		火付禁止の高札	1枚	R 3. 3. 25 土堀 (坂田家)	
21	古文書		博奕禁止の高札	1枚	R 3. 3. 25 土堀 (坂田家)	
22	考古資料		五輪線刻塔婆	1基	S51. 2. 27 東石曾根 (善明寺)	
23	考古資料		五輪線刻塔婆	11基	S51. 2. 27 村松甲 (正円寺)	
24	考古資料		五輪線刻塔婆	3基	S51. 2. 27 矢津 (泉福寺)	
25	考古資料		五輪線刻塔婆	1基	S51. 2. 27 新屋 (勝泉寺)	
26	考古資料		五輪線刻塔婆	1基	S51. 2. 27 村松甲 (英林寺)	
27	考古資料		五輪線刻塔婆	2基	S51. 2. 27 村松甲 (清水寺)	
28	考古資料		五輪線刻塔婆	3基	S51. 2. 27 熊野堂 (禪定院)	
29	考古資料		五輪線刻塔婆	3基	S51. 2. 27 川内 (永谷寺)	
30	考古資料		五輪線刻塔婆	1基	S51. 2. 27 矢津 (石川家)	
31	考古資料		五輪線刻塔婆	2基	S54. 7. 16 石曾根 (伊志曾禰神社)	
32	考古資料		板碑 (五輪線刻塔婆)	1基	S57. 3. 24 馬下 (相田家)	
33	考古資料		経筒	2口	S52. 4. 19 川瀬 (願成寺)	
34	考古資料		村松藩主第10代堀直休副葬品	106点	S52. 4. 27 村松郷土資料館	
35	考古資料		骨蔵器	2個	H 1. 11. 15 村松甲 (正円寺)	
36	無形文化財		帛の帯		S60. 10. 31 帛の帯保存会	
37	有形民俗文化財		布袋町布袋屋台及び付属文書	1基・117冊	S48. 12. 17 粟島	
38	有形民俗文化財		式三番城町屋台	1基	S53. 1. 19 村松郷土資料館	
39	無形民俗文化財		蒲原神楽		H 2. 1. 16 蒲原神楽保存会	
40	無形民俗文化財		善願の虫送り		H27. 7. 23 善願町内会	
41	史跡		大蔵遺跡		S43. 5. 4 大蔵	
42	名勝		視後平の滝	1ヶ所	H12. 8. 22 小面谷	
43	名勝		衣岩	1ヶ所	H12. 8. 22 小面谷	
44	天然記念物		周防杉	1本	S51. 2. 27 長橋 (羽黒神社)	
45	天然記念物		館之内の大杉	1本	S60. 10. 31 丸田	
46	天然記念物		大沢鍾乳洞	1洞	H 5. 11. 19 刈羽	
47	国登録		建造物	伊藤家住宅 (主屋・三階土蔵・米蔵・家財蔵及び計量場・納屋・表門及び内堀)	6棟	H17. 7. 12 羽下
48			建造物	新潟県立村松高等学校 (旧新潟県立工業学校) 正門	1基	H20. 3. 7 県立村松高等学校
49			建造物	坂田家住宅 (主屋・新倉・土蔵・古土蔵・堆肥舎)	5棟	H23. 1. 26 土堀
50			建造物	慈光寺 (本堂・庫裏・禅堂及び衆寮・山門・回廊・経蔵)	6棟	H24. 2. 23 蛭野
51			建造物	慈光寺虚空蔵堂	1棟	H24. 2. 23 別所

新潟県五泉市教育委員会 生涯学習課

〒959-1861 新潟県五泉市粟島1番22号

TEL:0250-42-5195 FAX:0250-43-4190

URL <https://www.city.gosen.lg.jp>

QRコード

